

カメルーン南西部で絶滅の危機に瀕する大型水生ほ乳類マナティーと漁業の共存を目的とした、環境配慮型漁業の推進とエコツーリズムの整備

活動地域



外来種の浮草 *Salvinia molesta* の駆除

課題

マナティーの漁網への混獲、害蟲駆除及び食肉目的の密漁が起きている。さらに、新たな問題として外来種の浮草が増殖し、マナティーの生息地を圧迫している。

目標

マナティーの混獲数を減少させ、環境教育によって保全への意識を高める。外来種の駆除を進めつつ、エコツアーの整備によって保全と地域経済の活性化を目指す。



今後の展望

学校での環境教育に力を入れて進めていく。今後も漁師らの協力を得て人力での外来種の浮草駆除を進めると同時に、昆虫を用いた駆除も進めていく。エコロッジの建設は許可申請が得られ次第進める予定である。

つづける助成
2年目
知識の提供・普及啓発

マナティー保全に
賛同した人

80 %

駆除した外来種の
植物の量

120 トン

今年度計画の達成度

90 %

目標達成度

90 %

苦労した点と工夫した点

苦労した点

教員によるストライキが起き、学校での環境教育が困難であった。エコロッジ建設の許可申請を得るために時間がかかっている。

工夫した点

授業後に環境教育を実施するよう調整した。テントを購入してエコツアーを進めると同時に、許可申請のための手続きを進めた。



小学生を対象にした
フィールド実習の様子



Dizangue/
Edea, Littoral Cameroon
E-mail : info@ammco.org
HP : http://www.ammco.org/